

福祉

わかやま

寄り添い つながる 広報誌

vol.450

5 2025
月号



この広報誌の発行に
一部共同募金配分金を
利用しています。



5月は
「孤独・孤立対策強化月間」です
みんなニコニコ笑顔の今福

今月の表紙

今福小学校の卒業生と
今福地区のみなさん
(2〜4Pに関連記事)



社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会



5月は「孤独・孤立対策強化月間」です

孤独・孤立対策の柱の一つは「孤独・孤立に至っても、支援を求める声を上げやすい・声を受け止める・声をかけやすい社会」とすることです。国では孤独・孤立についての理解・意識や機運を社会全体で高めていくための取組を5月に集中的に行うこととしています。

今月の特集では、孤独・孤立をなくそうと取り組まれている和歌山市今福地区の活動を紹介します。



郭家住宅

どこか懐かしさが
残るまち今福^{いまふく}
和歌山市の南西に位置する今福地区は、幹線道路の整備が進み、町のようすが目まぐるしく変わっています。その一方で、明治10年に建てられた郭家住宅(国指定重要文化財)や昭和の雰囲気が残る建物もあり、和歌山市の中心市街地でありながら、路地を歩くと懐かしさが感じられます。

笑顔の今福 みんなニコニコ

今福小学校の児童が考えた今福地区のキャッチコピー



今福おこし運営部会の目的
(運営部会規約から)
地域住民が集い交流できるイベントを開催し、地域の賑わい、活力を取り戻し交流の絆を深める。

今福地区には、和歌山市社協在職時、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)として関わらせていただきました。まず、地域の実情を知ることから始めました。
課題は一人暮らしの高齢者が増えていること、多世代交流の機会が減っていることなどこの地区にも共通することでした。
「銭湯を居場所に活用させていただけないかな」など地域の方に相談し、話し合いを重ねる中で、「今福を元気にしたい」「寂しい思いをしている人をなくしたい」とのみなさんの想いから生まれた取組が「今福おこし」(今福地区社協の運営部会として令和5年6月発足)です。



トラスト
グループホーム TRUST 代表
(元和歌山市社協
生活支援コーディネーター)
たおか りえ
田岡 梨恵 さん

今福湯で「今福おこし」の振り返り会をしています



瓶に入ったコーヒ牛乳で
お疲れさま～!



(右) 神野さん作成

今福小学校の卒業生(西和中学校の生徒)も「今福おこし」の案内チラシを進んで配ってくれました。

Voice

子ども達からエネルギーをもらいました。子どもが地域に居てくれるだけでいい。(住民)
地域の方と話せて楽しかった(児童)



にぎわい、支え合う「今福おこし」

いい湯かげんです

今福小学校の児童や住民が地域の課題解決に向けアイデアを出し定期的にイベントを開催しています。

銭湯にちなんだ紙芝居



気づけばいつも民生委員さんが寄り添ってくれています

私は、芸達者でもありませんし、大きなイベントを企画することもできませんが「ちよっとしたこと、できる範囲でお手伝いさせていただく」ことならできるのではないかと考えました。
ちよっとだけ勇気を出して「今福おこし」の場をお借りし、みなさんに「お手伝いをさせていただきます」と呼びかけました。ほんの少しのお手伝いは私に大きな喜びを与えてくれます。
神野さんは、出勤前に一人暮らしの高齢者宅に立ち寄り、「ごみ出しのお手伝いをさせていただきます」



住民

地域住民 / 和歌山市役所職員
かの はじめ
神野 肇 さん

今福おこしやポツチャ大会、今福についてわいわい話ができただけのことうれしかったな。

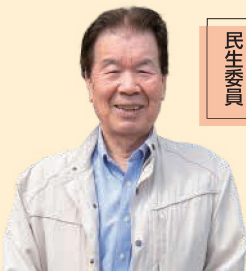
今福は人情にあふれ、住みやすい町なんです。今は人のつながりが希薄になりつつありますが、今福小学校の子ども達との交流をとおして、未来は明るいと感じています。



自治会長

連合自治会長
おざき みつる
尾崎 満 さん

普段の暮らしのなかで、こどもは高齢者からさまざまなことを学び、高齢者はこども達から元気をもらう。そんなようすを町のおちろちろで見られるようになってほしいと願っています。民生委員として、地域住民として、コツコツ歩く草の根の活動を仲間と共に続けていきます。



民生委員

今福地区民生委員・児童委員協議会会長
いわはし たかゆき
岩橋 孝行 さん

私は今福湯の娘として地域の皆さんに育てていただいたんです。
ここの今福が「みんな安心して暮らせる町」であってほしいと思っています。
「地域でこどもを育て、こども達は高齢者に優しく声をかける。それが自然に出来る町になればいいかなあ。」
先日の「今福おこし」で、一人のこどもが交通安全の見守りをしてくれている方に、自分がもらったお菓子をプレゼントしていたんです。大人が自分達を大切に想ってくれていること、こどもはちゃんと分かっています。



施設代表

今福いきいき
デイサービス代表
だいほ さちよ
大保 幸代 さん

小学校



今福小学校 校長
たくぼ しん
田窪 伸 さん

児童には自分が住んでいる地域に誇りを持ち、自尊感情を高め、自分も地域の方も大切にする大人に育ってほしいと想っています。

「今福おこし」で、児童達は、自分も楽しく、地域の方に喜んでもらうにはどうすれば良いかと考え主体的に企画や運営に関わらせていただきました。ゲームコーナーでは、試行錯誤を繰り返し、成功や思いどおりにいかなかったことなども振り返っていました。

6年生(現中学1年生)や教師にとっても貴重な経験となりました。あとに続く5年生(現6年生)も地域の方に喜んでいただきたいとの想いをしっかり受け継いでいます。



6年生の卒業文集
学校での思い出

「僕が一番に残った思い出は今福おこし」と書いてくれた児童がいました。

地区社協



今福地区
社会福祉協議会会長
はまばた さよこ
浜端 早余子 さん

「今福小学校のことも達は、よく挨拶をししてくれるんです。地域の方からそんな声を耳にします。住民と学校が近いのは、校長先生を始め先生方が地域とつながろうとしてくださっているからだと思います。大人もことも挨拶を交わし普段から顔の見える関係であることが災害にも強い町づくりにつながると思います。地域で一人も取り残さないようにと、昨年消防団のOBで今福たすけ愛隊(たすけあいたい)が結成されたんですよ。

地域包括
支援センター



地域包括支援センター
センター長
いまにし なおみ
今西 直美 さん

「今福おこし」や「まちの保健室」(健康チェックだけでなく、ふれあいの場となっている)など地域に出て行き、顔の見える関係になり、センターを知ってもらうことで、気軽に困りごとの相談をしてもらいたいと思っています。

私は「地域の力」を信じるのが大事だと常々考えています。専門職が方向性を決めるのではなく、そこに暮らす人の想いを大切にしていきたいです。

理学療法士



龍神整形外科
理学療法士
りゅうじん まさみち
龍神 正導 さん

「今福おこし」のメンバーとして地区に入らせていただく中で、地域のみんなが手を取り合い、動きだしているなど感じています。いいですね。これからもみなさんと一緒に進んでいきたいです。

市社協



和歌山市社協
第2層生活支援コーディネーター
さわ まさと
左巴 誠人 さん

和歌山市社協は、市から重層的支援体制整備事業(地域づくり事業等)の委託を受け、世代や属性を超えて交流できる場づくり等に取り組んでおります。私は地区の方の背中をほんの少し押させていたただけです。

今福おこしは、私が想像した以上に広がりを見せ、小学校では「今福ハッピープロジェクト」と題し、地域のために何が出来ていくかを考えてくれています。地域で孤立する人を無くそうと「今福おこし」のチラシを持つて一人暮らしの方の家を訪問してくれている人もいます。「今福おこし」を通して日々、地域住民の力を感じています。

「今福おこし」で
社会的孤立と
向きあう！



摂南大学現代社会学部講師
うえの やま
上野山 裕士 さん

今福おこしの運営委員です

多様な世代、立場の人びとが協働しながら、また楽しみながら開催する今福おこしは、イベントそのものが魅力的な場(非居場所)であるとともに、そこに参画した人びとが、それぞれの日常のなかで、だれかにとつての「ドア・オープナー」(孤立状態にある人と社会の間にある「ドア」を開くことのできる存在となり、地域のなかにある孤立をすこしずつ解消していく、そんな可能性をもった取組です。今福おこしというきっかけで紡がれた縁は、きつとだれもが支えあい、役割をもって活躍できる今福地区の未来へとつながっていくのだと思います。

ともに生きる地域社会の実現をめざして

ふだんのくらしのしあわせを
みんなの力でつくりまします



令和7年度 事業計画・予算の概要

県社協は令和7年度、法人設立70周年を迎えます。第6次活動計画の第4年次として、次の6つの重点目標の達成に向けて取り組みます。

1 社会的孤立への対応

借受世帯等の多様な生活課題に対し、多機関との連携・協働をさらに強化し、必要な支援を実施します。

2 市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり

市町村社協における「相談・支援体制の強化」と「地域づくりのため」の活動基盤整備」を支援します。

3 相談支援・生活支援と権利擁護の充実

日常生活自立支援事業や成年後見制度を通じた相談・支援体制づくりを促進し、成年後見制度の利用促進への取組を強化します。

4 多様な主体や社会資源が つながる地域づくりの支援

「和歌山県こども食堂応援ネットワーク」事業において、こども食堂のさらなる普及と活動支援に取り組みます。

5 地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成

福祉人材のすそ野拡大に向けた多様なアプローチや福祉の魅力発信、将来的な福祉人材の確保に取り組みます。

6 自然災害への対応

平時から災害時にも助け合える場づくりや仕組みづくり、災害ボランティア活動支援機能の強化に取り組みます。

県とともに「災害福祉支援ネットワーク」及び「災害派遣福祉チーム(DWAT)」の活動を推進します。



令和7年度 会計区分別予算の概要

一般会計

会計区分	令和7年度 予算額 (単位:千円)
事業区分	
拠点区分	
サービス区分	
一般会計	3,364,944
社会福祉事業区分	517,882
法人運営事業拠点区分	185,328
施設団体サービス事業拠点区分	124,638
住民サービス事業拠点区分	207,916
公益事業区分	2,839,471
民間社会福祉事業従事者共済事業拠点区分	2,065,276
福祉人材確保等貸付事業拠点区分	774,195
収益事業区分	7,591

生活福祉資金会計

会計区分	令和7年度 予算額 (単位:千円)
事業区分	
生活福祉資金会計	2,597,130
生活福祉資金	1,985,813
生活福祉資金貸付事務費	425,002
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	149,074
臨時特例つなぎ資金	37,241

【お問合せ先】総務企画部 総務経営班 TEL073-435-5222



株式会社メイワ様より
ご寄付をいただきました！

県民の皆様には、いつも赤い羽根共同募金にご協力を賜りありがとうございます。

この度、株式会社メイワ様(本社:紀の川市)より社会貢献活動の一環として、赤い羽根共同募金にご寄付をいただきました。県共同募金会事務局より、和歌山県共同募金会会長感謝状をお渡しいたしました。

和歌山県の地域福祉推進に活用させていただきます。ご協力誠にありがとうございました。



令和7年3月4日(火)
右:株式会社メイワ
代表取締役 社長 高橋 健太 様
左:和歌山県共同募金会
常務理事・事務局長 大山 茂

株式会社メイワ様より

当社は冷凍空調・食品・医薬品等に深く関わる機器を設計・製造しています。独自の技術とチャレンジ精神を強みに、SDGsに不可欠な「省エネ&エコ」なものづくりに取り組むメーカーです！

今回、赤い羽根共同募金の地域福祉の推進・災害時支援の趣旨に賛同し募金させて頂きました。

少しでも困っている人のお手伝いが出来ればと従業員一同、応援をさせて頂きます。

赤い羽根 わかやま



メール info@akaihane-wakayama.or.jp

お問合せ先

社会福祉法人和歌山県共同募金会
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
TEL073-435-5231 FAX073-435-5232

HP https://www.akaihane-wakayama.or.jp/



前列右:乾幸八区長、後列右:ひかり苑 井上直紀さん、前列左:ひかり苑 堀畑電久さん
いぬい こうはち いのうえ なおき ほりはた りゅうく

橋本市垂井地区×ひかり苑×橋本市社協 買い物ツアー

橋本市の垂井地区では、地域の社会福祉施設、サロンボランティア、橋本市社協等が協力し、高齢者を対象とした「買い物ツアー」を令和5年2月から月1回実施しています。

たすけ愛♥はしもと

(生活支援体制整備事業(※)に
おける第一層協議体)

【お問合せ先】

社会福祉法人橋本市社会福祉協議会

橋本市東家1-3-1

橋本市保健福祉センター 2階

TEL0736-33-0294

一人の声から地域の取組へ

独居等の理由で、普段は一人で買い物に行くことが難しい高齢者が参加するこの「買い物ツアー」は、社会福祉法人光誠会(ひかり苑)が、移動手段としてデイスーツの送迎車を利用していない時間帯(13~15時)に無償提供し、運転手と乗降補助の職員2名が活動に参加して全面的にサポートをしています。

また、集合場所までの送迎や買い物中のサポートとして、垂井地区のサロンボランティア2名も協力しています。

活動のきっかけは、地区の住民から「運転免許証を返納してから、買い物に行くのが不便になった」という声を聞いたことでした。この困りごとを解決するため、地域住民が主体となった協議体で話し合い、試行錯誤した結果、今の形に辿り着きました。

参加者からはとても好評で、「自分の目で商品を選べるのが楽しい。」や「買い物のために店内を歩くことで良い運動になる。」と喜びの声が寄せられています。

これからも拡がりを考える

垂井地区の乾区長にお話を伺いました。ひかり苑の方は、メンバーの一員として話し合いに参加し、地域貢献活動の一環

自分の目でみて
買い物中♪



(※)橋本市では地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れるように、平成27年度から「生活支援体制整備事業」を実施し、地域の互助を高め、地域全体で要支援者等の生活を支える体制づくりを進めており、市内10か所に協議体を設け、住みやすい地域にするための話し合いを行っています。



乗降をサポートする様子

として、快く協力してくれています。本当にありがたいと思っています。今後は、参加者の意見を受けて、実施回数や行先の店の候補を増やしていきたいと考えています。そのために、協力してもらえらる社会福祉施設やボランティアを募り、実現できる体制づくりを進めていきたいです。これからも住民の困りごとを地域全体で考え、解決に向けて取り組んでいきます。

福祉サービス事業所の皆様へ

苦情受付体制として、苦情受付担当者、苦情解決責任者は配置されていると思います。それに加え、第三者委員を配置することは外部の人々が介入する仕組みとして重要です。

また、「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針(厚生労働省)」では、苦情解決結果を、インターネットを活用して公表することと示されています。

上記のことに関する参考資料(苦情解決体制整備のために)を県社協ホームページに掲載しています。



苦情受付窓口等の周知用ポスター(B2)を送料実費負担で配布しています。必要な事業所の方は下記までお問合せください。

このポスターは、指針に示されている事項(利用者等に対して、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の氏名や連絡先などの苦情受付窓口の周知を図ること)に準拠して作成したものです。

【お問合せ先】県福祉サービス運営適正化委員会
TEL073-435-5527 FAX073-435-5584
e-mail:kujou@wakayamakenshakyō.or.jp

キャリア支援専門員・保育士等支援コーディネーターによる福祉・介護・保育のおしごと応援!!出張相談

県福祉人材センター及び紀南福祉人材バンクでは、以下のとおり出張相談を行います。

福祉職に関心のある方、再就職や転職をお考えの方は、お気軽に相談にお越しください。



はじめよう!
福祉の仕事

	場 所	日時等はこちらから
介護・保育	ワークプラザ紀ノ川 ハローワーク御坊 ハローワーク新宮	
介護のみ	ハローワーク和歌山 ハローワーク橋本 ハローワーク田辺	

※ハローワーク和歌山・橋本・田辺では「介護の就職セミナー」も併せて実施しています。

お問合せ先

県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)TEL073-435-5211
【ハローワーク田辺・新宮での出張相談の場合】
紀南福祉人材バンク(田辺市社協内)TEL0739-26-4918

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 保険金		
	入院中の手術	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
賠償責任	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

<重 要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



～地域の伝統を受け継いで～ ふれあい作業所の金山寺味噌

特定非営利活動法人ふれあい「ふれあい作業所」では、大きめの具がたっぷり入った金山寺味噌を製造、販売しています。

金山寺味噌を作る人が減少している状況で、地域の伝統を絶やさないよう地元の金山寺味噌づくりで有名な方から、道具と作り方を引き継ぎました。麴から手作りする昔ながらの製法で、食材は地元産のものを中心に使用。大きめにカットしたウリやナス、生姜をたっぷり入れた甘めの金山寺味噌に仕上げられています。最初は失敗もありましたが、試行錯誤を重ね、現在の味にたどり着きました。

3名の施設利用者さんと一緒に丁寧に作っています。白いご飯のおともとしてぜひお召し上がりください。



特定非営利活動法人ふれあい
ふれあい作業所

住所 有田川町徳田1417

TEL 0737-22-7117

読者アンケートにご協力をお願いします！

いつも県社協広報誌「福祉わかやま」をご愛読くださり、ありがとうございます。
今後、さらに読者の皆さまにとって充実した誌面をお届けできるよう、今月号より読者アンケートを実施いたします。

読者アンケートはQRコードからご回答いただけます。
来月号からは、読者アンケート回答用のQRコードを広報誌の裏表紙に掲載いたします。
ご協力をお願いいたします。

アンケートはこちら



申込受付中

福祉人材キャリア形成支援研修

研 修 名	開催日時	会 場	受講申込期限
ファシリテーション研修	6月 4日(水) 10:25～16:00	和歌山ビッグ愛	5月14日(水)
質の高い仕事の進め方のノウハウを学ぶ!	6月12日(木) 10:25～16:00	和歌山ビッグ愛	5月22日(木)
福祉レクリエーション研修	6月18日(水) 10:25～16:00	紀の国住宅東部コミュニティセンター (和歌山市)	5月28日(水)
コーチング+ (プラス) 研修	7月 2日(水) 10:25～16:00	和歌山ビッグ愛	6月11日(水)
介護支援専門員試験対策勉強会Ⅰ 介護支援専門員試験対策勉強会Ⅱ 介護支援専門員試験対策勉強会Ⅲ	7月10日(木) 7月16日(水) いずれも 7月24日(木) 10:25～16:00	和歌山ビッグ愛 オンライン(Zoom) (併用で開催)	6月19日(木)
福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程【初任者編】	7月29日(火) 9:55～17:10 7月30日(水) 9:25～16:40	和歌山ビッグ愛	5月30日(金)

※研修の受講には、受講料がかかります。

※感染症や自然災害等の事由によっては、中止になる場合があります。

※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。

※詳細は県社協ホームページをご覧ください。

※定員(先着)になり次第締め切ります。

【お問合せ先】県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)TEL073-435-5210



まなぶぞう

